

モニター会議の振り返りについて

<令和2年度第2回：令和3年6月22日（火）>

1 開催日程について

- (1) 6月22日（火）18時30分～20時

2 開催手法について

- (1) オンラインとリモートのハイブリッド形式について
- (2) グループ構成（人数及び議員とモニターの割合）について
- (3) 議員の役割分担（進行・発表・記録）について
- (4) 資料（過不足、適否）について

3 開催テーマについて

- (1) テーマ数について
- (2) テーマ設定について

4 開催通知・集約等について

- (1) 通知の時期について
- (2) モニター出欠の集約方法について
- (3) 会議開催準備の手続きについて

5 次回の会議に向けて

- (1) 制度目的との整合性について
- (2) 開催手法について
- (3) テーマ設定について

6 その他

意見交換会・会議名：モニター会議

■開催年月日： 令和3 年 6 月 22 日 (火)

■開催場所： オンライン

■出席議員： 鈴木・柴田・橋本・中田

■参加者： 石田幸治・畠山大輔 *

欠席・雨山理恵（文書で意見提出）

(合計： 6人)

■記録者名： 中田

カテゴリ	テーマ	意見交換内容
モニター制度の今後のあり方	職務を行うことの負担感は？	<ul style="list-style-type: none"> 石田～議会の日程が毎週来るがスケジュール感がタイト。会社の休みがローテーションでやりくりが大変。早めに教えて頂けると参加しやすい。以前のモニター会議で休みをとったが急な変更で出られなかった。 →いつくらいの連絡ならという要望はありますか？ 傍聴なら2週間前。モニター会議はシフトの関係で1か月前には頂きたい。 畠山～負担感はない。そこまで肩に力を入れてやらない。見れるときに録画やインターネットで視聴しています。マックブックを使っているが見れない。タブレットは見れる。
	どのように進めるとやり易くなる？	<ul style="list-style-type: none"> 石田～議員と話す機会が他になく凄く貴重だと思う。もっとというよりこの制度を取り入れて先端をいっていると思う。もっと色々な人に意見を聴く意味でも色々な人に知ってもらって、知らない人、興味のない人が入りやすいような何かがあればいい。最初は緊張していたが、入ってみると聞いてくれたり教えてくれたり凄く勉強になる。色々な人が入れる工夫があれば良い。もっと広めて他の町もやったら良いんじゃないかと、素晴らしいことだと思っている。 畠山～素晴らしい制度でとっつきやすく普通の町民が町政に参加出来るチャンスだと思っている。今はリモートだが集まってやる会議の雰囲気凄く楽しい。議員と他のモニターと話が盛り上がり良いなあと。そういう様子をどんどん、なかなか議会だよりでは伝わらないのかなと思います。
	自分の意見が議会で議論されると感じられる？	<ul style="list-style-type: none"> 石田～モニターにならなければそこまで気にしてなかったが、モニターになって気になるところが色々ある。議員がそれぞれ色々関心を持って発言していると感じる。議員がテーマを持って真剣に取り組まれているなとわかる。モニターになって距離が近いから関心が持て、やっていることがわかった。皆で集まって話をすると、まちづくりに参加している感じがする。

意見交換会等フォーマット

	<p>意見は反映されたいと思っていない、個人の意見なので。良いものは採用されると思うが、皆さんのことを考えていかなきゃいけないと思っている。自分の意見が通る通らないより、色々真剣に聞いてくれて、これはということに対して対策を打ってくれていると感じている。報道では政治家に対する悪いイメージばかりで、実際は誠実で真剣にされている方が多いのに、色んな人が悪いイメージを持っている。モニターに参加して変わると思う。話してわかることがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 畠山～伝わっていると思う。観光の分野とかモニターの中で話し合ったが、嵐山を利用するとか、サイクリング利用で、農村と繋いでいこうとか。伝わっている一方で公立がちょっと気になる。形が伝わりにくく大変そうだが、あの時の意見はどうなったのか？ <p>→病院改革途上、空き病棟を回復期の療養型へ準備していたところでのコロナ流行により、コロナ病棟に変更となった。外科医師は要請するも医師不足により休診となる。</p> <p>→病院は必要だがどこまで赤字を出していいか悩み。高齢化が進み、何を残し何を削って最終的にどういう形にしていけるかある程度見るとそこに向かって更に改革に進めていける。</p>
<p>モニターになってくれるには？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 橋本、中田～無作為抽出。 ・ 柴田～モニターが紹介。 ・ 石田～無作為抽出は裁判員制度のようなイメージ。紹介制はまず誰がいるだろう？と考えた。まず募集の際、職務規定が固い。そこを見せないで、意見を徴収する場、テロップは「まちづくりを一緒にやりませんか？」で良いのでは。何かをしなきゃいけないとか、意見や文章賞えますかってちょっとハードかなって思った。募集はどちらもありだと思います。 ・ 畠山～無作為の場合、果たしてどの程度来てくれるのか。僕もある方の紹介で入ったが、その方は一回もモニター会議に来てないと言っていた。紹介する側も責任があるし慎重に考えなくてはならない。PTAの意見交換会に参加したことがあったが良いなと思っていた。モニター会議のような笑いは起きないが楽しく出来たら良い。高校生の体験も良い。大人になったら興味を持つのだろうかという気がしている。 <p>→ハードルを下げれば誘いやすい。芽室のまちづくり一緒に考えましょうぐらいから入ってのちのち、議会を傍聴して議会だよりに載せる原稿頂けませんか？ならいかがでしょう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そのくらいにすれば、とっかかりとして興味を持たれ

意見交換会等フォーマット

		<p>る方はいると思う。 →10条6項目見せられたら後ろに下がりそう。もっと中身的に柔軟で多様な参加が出来るような仕組みが発展的に変わっていったら良い。先程の意見で町民との意見交換会も、もっと楽しくざっくばらんに自分たちの意見も言えるような気軽な会に、その辺もヒントになるのかなと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 畠山～素晴らしい議員がいることもっと知って頂きたい、ユーチューブなどで発信したら良い。
議会モニター の職務 について	(1) 会議を傍聴し意見を提出すること	<p>仕事の都合で平日昼間の会議を傍聴するのは難しく、2年間1度も足を運ばませんでした。会社員だとこの時間帯では無理な方が多いと思います。ネット中継録画は数回見ましたが、資料が手元にない又難解な用語が使われていることもあり、理解しづらいつ感じました。意見を文章により提出することに関しては特に重荷ではなかった。</p>
	(2) 議会だよりなどに関する意見を提出すること	モニターとして当然提出すべきもの
	(3) 議会の政策提案に関すること	モニターとして当然提出すべきもの
	(4) 調査事項に回答すること	重荷とは思わない
	(5) 意見交換会を行うこと	行うべきである
	(6) 議長が必要と認めたこと	応じることの出来る範囲で協力すべき
	どのように進めるとやり易くなる?	今回特にやり辛いとは思いませんでした。
	他に職務として必要なことは?	町内会活動に参加して町内からの意見を聞き、それをあげていくことが出来ると良いと思いました。
意見など議員	議会で議論されている	議会での一般質問にモニター会議で話題に出たことが質問事項となっていたことがあり、議論されているのだと

意見交換会等フォーマット

に伝わっている？	と感じられる？	感じられた。
	意見が実現している実感は？	進捗状況の報告と実際意見が反映された時でしょう。
モニター制度をより良いものにするために	参加して良かった、また参加したいと思える会議のあり方	一番だと思うのはテーマだと思います。興味がありタイムリーなテーマだと沢山意見も出て参加して良かったと思えるのでは・・・ 年齢、立場などより広いモニターがいれば良いと思う。

意見交換会・会議名：第2回モニター会議

- 開催年月日： 令和3年6月22日（火）18:30～20:00
- 開催場所： オンライン
- 出席議員： Bグループ：広瀬議員、梶澤議員、黒田議員、渡辺
- 参加者： 珠玖謙一さん、鈴木美幸さん、土井慎悟さん
- 記録者名： 渡辺

意見交換内容
<ディスカッション>
【モニターを務めて感じたこと（感想）】
<珠玖さん>2年務めさせてもらった。議員と話をする機会が増えて勉強になった。それぞれ違う職業や立場のモニターさんもいらっしゃっていろいろなお話が聞けた。困ったことやこうだったらいいなと思うことを率直に話せる機会ができて大変良かった。
<鈴木さん>2年モニターとして活動した。モニターになる前は考えることもなかったようなことを考えるようになった。自分の住んでいる町のことも考えるようになって良い機会になった。オンラインでの開催はいいと思う。今後も何回かに1度はオンラインで開催してくれると助かります。他のモニターさんとざっくばらんに対話することもとてもよかった。
<土井さん>3年目になりました。最初の1年は集合での議会モニター会議だった。議員と話すことやテーマ別に話すことも勉強になった。いろいろなことに目を向けるようになった。オンラインでの参加は今回初めてですが、効率的だし、話もしやすい環境だと思う。うまくオンラインを活用しながら活動していくのがいいと思う。議員と距離が近くなったし、いろいろな意見を交換できるので大変良い経験になりました。
【今後のテーマ設定についてどのようなご意見をお持ちでしょうか。】
モニター制度は平成24年からスタート。まちづくりに関心を持っていただきたいのと、住民参加と情報公開を進めてきた。各常任委員会で取組んでいるテーマについて意見をいただいたこともあったし、事前にモニターのみなさんにアンケートをとってテーマ設定をしたこともあった。モニター＝議会の応援団という気持ちでやっている。もっと多くの町民の方になってほしいと思っている。これまで公募は2名、昨年無作為抽出のアンケートから2名の応募があった。
<珠玖さん>モニターのなり手不足も聞いている。さまざまな職業、立場、年齢など、まんべんなくモニターになっていただくのが良いと思う。その中でそれぞれの方からテーマを出してもらおうとよいのではないかと思います。
<鈴木さん>2年たってみて、こういうことをテーマにしてほしいということも少しずつ芽生えてきた。モニターさんからテーマを出してもらおうのも良いし、解消できなかったことを次回にそのことをテーマにするのも良いかも。ただし1年目だとなかなかテーマは出てこないかもしれない。いろいろな立場の方の意見が聞けるのは良いことだと思

意見交換会等フォーマット

います。
<土井さん>何回か会議に参加させていただいたが、昨年実施した興味のあるテーマに入って議論するという形でディスカッションできたのは良かった。参加してみてもわかることも多かった。もっとたくさんの町民の方にモニターになってもらうのが良いのでは。モニター制度についてもっと広めていくことも重要かもしれません。
【どのようにしたらモニターになっていただけるでしょうか】
<土井さん>モニターが何をやっているか知ってもらうのが必要。モニター会議の写真をもっと多く。模造紙で書いたものを公開するとか。会議を中継するのも面白いかもしれない。どんな雰囲気で行っているのかなど、伝える工夫が必要では。
<珠玖さん>議員のネットワークを駆使することも継続して必要だと思います。1人ではなかなか議場で傍聴に行きにくい。モニターで傍聴する日を設定してもらえると行きやすくなると思います。
【オンライン開催についてご意見はありますか】
<鈴木さん>1回か2回は集まってやった方がいいと思うが、オンラインも混ぜた方が参加しやすい人もいると思うのでいいと思う。
<珠玖さん>最初は集まった方がいいと思っていたが、オンラインもいいと感じた。
<土井さん>集合とオンラインと両方併用しながらやっていくのがいいのでは。
【モニターが活動しやすくなるために】
<ul style="list-style-type: none">・やってみて楽しいという部分を議会だよりなどで伝えていく。・いただいたご意見をどのように扱っているか見える化していく。
【モニターの定員についてどのようにお感じですか】
<土井さん>ディスカッションするなら20名くらいがいいと思うが、1年任期で多くの人というのもあり。
<鈴木さん、珠玖さん>20名のいまの定員でいいと思います。

令和2年度第2回議会モニター会議記録（Cグループ）

■日時：令和3年6月22日18時30分～20時

■場所：オンライン

■参加：藤井さん・篠原さん（モニター）、常通・西尾・立川・堀切（議員）、渡邊さん（欠）

■進行：堀切 ■記録：立川

意見交換会内容

これからの議会モニターのあり方について

<議会モニターを経験して感じたこと>

- ・参加のきっかけは知り合いから誘われたこと。自分からは「公募」には応じなかったと思う。
- ・モニターを経験して気づくことがたくさんあった。次につなげたい制度だと思う。
- ・会議に参加する負担感はない。むしろもっと回数を重ねても良い。議論の経緯などが随時モニターにも把握できるような仕組みがあると参加しがいがあると思う。たとえ実現できないとしても経緯や結果は知りたい。
- ・会議での意見が反映されれば、なおやりがいを感じられる（モニターの存在意義）。
- ・意見が反映されることの実感を得ることが大切。
- ・オンラインはコロナ終息後も継続してほしい。参加手段が多様な方が、より多様な世代のモニターの参加が期待できると思う。中高生にも参加してほしいし、オンラインならその場にいる家族の参加も可能になるのではないかと（モニター以外の声も聞ける。多様な声を拾い上

げられる)

<議員からモニターさんへの質問>

Q 知り合いに、議会モニターに参加することを勧められるか？

A 職場の同僚などには、議会モニターをしていることが知れると「すごい！」など声をかけられた。それだけ議会と町民との距離があるのだと思う。自分も引き受けた当初は、議会の敷居は高いと感じていたが、参加してみると気軽に意見が言える場だった。体験してわかることだと思う。

Q 議員は参加しやすい対話の場づくりの研修も受けているがモニター会議での雰囲気はどうか？

意見は言いやすいか？

A コロナ前、対面で行った意見交換会はよかった。議員と直接議論を交わし、あの場での議論が町政に生かされていくのだということが実感できた。

Q モニターレポート提出の負担感はあるか？

A モニターレポートを書く負担感を自分は感じないが、書くことが苦手な方にはインタビューなどで聞き取りをしても良いのではないかな。

<その他、これから議会に期待したいこと>

- ・コロナ対策に注力してほしい。ワクチン接種が進めば事態も改善されると思うが、厳しい状況にある飲食店などへの支援を重点的にしてほしい。

・ コロナでこれまでの価値観が大きく変わりオンラインの活用の普及など良いことも増えた。

コロナ以前の価値観にとらわれず、新しい方法にチャレンジしてほしい。

意見交換会・会議名：第2回芽室町議会モニター会議

- 開催年月日：令和3年6月22日（火）
■開催場所：役場3F 委員会室
■出席議員：正村紀美子（進行）・寺町 平一・早苗 豊・中村 和宏
■参加者：秋葉 秀明さん・中田 照子さん
（合計：6名）
■記録者名：中村 和宏

【D班・リアルグループ】

意見交換内容
テーマ モニター制度の今後のあり方
Q：議会モニターとして負担をどの様に感じているか。議会傍聴など？ ・モニター制度は大切。忙しさから参加できない時もあるが、些細なことでも知ることの大切さを知った。 ・難しい感じと思ったが実際は身近なことと感じた。
Q：傍聴を経験してみて議会用語については？ ・難しさは感じるが調べるようにした。知らなければそれで終わるが、知ることによって納得できることがある。 ・難しさは感じなかった。高齢者の介護とかタブレット導入のことなどで身近な内容であった。タブレットについては家庭で、子どもと話す機会にもなった。
Q：議会だよりにモニターの声をお願いしているがご苦労は？ ・モニターとして求められていること。興味を持つようになり、自分にとって勉強になった。 ・選ばれたモニターとして投稿。（会社の同僚が、モニターをしていることを知っていた。議会だよりが読まれていることを実感した。） ・議会だよりのモニターの方々の声を読んで、議会への関心に心強さを感じている。（議員）
Q：アンケートについての率直な意見を？ ・どう答えていいのか、わからないこともあった。また、取り組んでいる内容について知らなかったこともあった。

Q：モニター会議、制度、手法については？

- 庁舎3Fがモニターさんにとって身近な場所となっているのか。気づいたことがあった時、3Fに来て声を伝えてくれる。そんな雰囲気にはまだなっていない。(議員)
- グループディスカッションの前に、例えばモニターさんだけが集まってテーマについて議論してから議員さんと話し合うのも一つのあり方と思う。
- かしこまったイメージから、身近な感じで参加できるタイミングが必要。
- モニターさんに知ってもらいたいことがあるので集まってという感じ。(議員)
- 気軽に意見交換できる場があったらいいと思う。

Q：この機会に、何か？

- 子どもたちが住み続けることができるまちづくり。建物があるだけで人がいない。まちなかの建物を生かした地域づくりが必要。
- 昔は経営者がいて店員さんがいた。今は経営者しかいないという現状もある。その位、買い物に来ない。
- 高校生との意見交換会の記事を見たが、若い子たちは、色々な意見を持っていると思う。
- 商店街の活性化の議論はしている。建物を所有しているのは町ではないので側面的な支援しかできない。(議員)
- 芽室だけでなく、多くのまちで悩んでいること。
- 住んでいる方々が何を望んでいるのかがわからない。声を出す場所もない。そのことをどうしたらいいのかを考えるのが議会。話し合う集団の固定化も感じている。いつも同じ人と話しているのが現状。何とかするためのきっかけの場がこのモニター会議。(議員)
- 議会だよりのモニターさんの声を読んで、自問自答しながら議員活動に生かしている。(議員)
- モニターが終わっても議会に関心をもっていて、何かあれば意見をいただける関係でありたい。(議員)

Q：1年間モニター制度を経験しての感想を？

- あっという間の時間であった。コロナ禍の状況下、モニターさんに負担がかかるが、もう少し会議の回数が増えれば参加する機会もあるのかと思う。
- モニターはモニターなりの責任としての会議でなく、堅苦しくない会議があればと思う。